

第8回 発達性ディスレクシア研究会

Japan Dyslexia Research Association 2008

テーマ

流暢性からみた発達性dyslexia
ー読み書きの速度が遅いとディスレクシアなのか？ー

プログラム・抄録集

2008年7月20日(日)～21日(月)

山崎製パン厚生年金基金会館 SUN CITY

〒272-0034 千葉県市川市市川1-3-14

第8回 発達性ディスレクシア研究会 実行委員長 宇野彰

第8回 発達性ディスレクシア研究会プログラム

1日目 (2008年7月20日:日)

9:20- 受付開始

10:00-10:05 開会挨拶

10:05-12:15 第1群 座長 : 大六一志 (筑波大学)

10:05-10:45 発達性読み書き障害児3名における視機能、要素的な視知覚及び視覚認知力の関連について

後藤 多可志(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

10:50-11:30 ベントン視覚記銘力検査を応用した修学前児童における視覚認知能力の評価の試み
川崎 聡大(岡山大学医学部歯学部附属病院)

10:35-12:15 英語学習困難児における英単語の母音知覚の検討-MMNを指標として-
室橋 春光(北海道大学大学院教育学研究院)

12:15-13:15 昼食

13:15-14:00 総会

14:00-15:25 第2群 座長 : 今泉敏 (県立広島大学)

14:00-14:40 音読速度に関与する認知機能の検討-小学5年生 200名に関して-
朝日 美奈子(筑波大学人間学類)

14:45-15:25 音読時間と誤読数による発達性ディスレクシアの評価
関 あゆみ(鳥取大学地域学部地域教育学科)

15:25-15:35 休憩

15:35-16:55 第3群 座長：金子真人(帝京平成大学)

15:35-16:15 ひらがな単音音読反応時間・誤読数と文章音読能力 ー第1報ー
奥村 智人(大阪医科大学 LD センター)

16:15-16:55 ひらがな単音音読反応時間・誤読数と文章音読能力 ー第2報ー
若宮 英司(藍野大学医療保健学部)

17:00-17:45 総合討論

18:00- 懇親会

2 日目 (2008 年7月 21 日:月)

9:00— 受付開始

9:45-11:10 第4群 座長 : 室橋春光 (北海道大学)

9:45-10:25 発達性 dyslexia 群と定型発達群におけるひらがなとカタカナの書字誤反応分析
— 小学生の読み書きスクリーニング検査(STRAW)を用いて —
鈴木 香菜美(筑波大学人間学類)

10:30-11:10 小学校通常学級在籍児童の書字速度と読み書き障害 3 症例
河野 俊寛(金沢大学附属特別支援学校)

11:10-12:10 昼食

12:10-13:35 第5群 座長 : 川崎聡大 (岡山大学)

12:10-12:50 日本での音韻認識障害が認められない英語学習困難例
蔦森 英史(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

12:50-13:35 Dyslexia 児に対する chunking を重視した読字指導の効果に関する検討
泉 久美子(鳥取県八頭町立郡家西小学校)

13:35-13:55 休憩

13:55-15:15 講演 司会 宇野彰 (筑波大学)

『特異的言語(発達)障害研究における近年の動向』

辰巳 格(LD・Dyslexia センター)

15:15 閉会挨拶